

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係
■評価事業名称	子育て支援事業			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	040200 - 212	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	01 子育て環境の充実		
	■施策	06 母子の健康の確保及び増進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	母子保健、児童虐待の防止等に関する法律、子ども・子育て支援法			
■関連計画の名称	北上市こども・子育て支援事業計画、男女共同参画プラン、北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	正しい知識の普及と仲間づくりを勧めることで、妊娠、出産、育児が楽しいと感じられる。両親学級、パパママ教室、育児学級、離乳食教室の開催			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	子育て支援事業	妊婦とその家族・乳幼児の保護者とその家族	産前教室12回、沐浴体験デー3回、追加教室1回、育児学級10回、ふれあいベビー教室6回、離乳食教室12回	産前教室12回 延人数276人、沐浴体験デー3回 延人数43人、追加教室1回 延人数12人、ふれあいベビー教室6回 延人数78人、育児学級10回 延人数184人、離乳食教室10回 延人数209人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	369	388	360	447	
人件費	10,053	9,301	9,691	6,225	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	10,422	9,689	10,051	6,672	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	開催回数	51回	51回	44回	44回	全教室
02	参加者の満足度(%)			79.5%	82.70%	参加して満足だったと答えた延数)/産前教室参加延数
03	開催1回当コスト	204,352円	189,980円	228,431円	151,636円	フルコスト÷開催回数

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

04	第1子を出産した母のふれあいベビー教室の参加率			10.7%	15.4%	平成29年度から「産前教室」と事業名称変更し、内容をリニューアルした。仲間づくりのきっかけの場であるふれあいベビー教室の参加者が増えることで地域の資源を知り、楽しく育児している。(母の教室参加者/年度内の第1子の出生数)
05	参加のべ数	508人	484人	494人	512人	母親学級は参加延べ数、他の学級については保護者の参加延べ数。
06	参加者1人当コスト	20,515円	20,018円	20,346円	13,031円	フルコスト÷参加延べ数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

両親学級、パパママ教室等の参加人数は増加傾向にあり、参加者の満足度も高い。父の参加率も高くなっている。

問題点・課題等

キャンセル待ちで受講できない方もいるため、回数・定員人数の見直し必要。仕事をしている方も受講できるように開催日の検討が必要。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

参加者が増え対象者に求められている事業である。会場のスペース、マンパワーの確保が必要。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了